

第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ 概要書

ワークショップ名	ICPC（プライマリ・ケア国際分類）コーディングのコツ
----------	-----------------------------

開催の目的	プライマリ・ケアはほぼすべての疾患を、その発症に近いところから扱います。症状・所見がすべて出そろっているわけではなく、精密検査もなされていない中で診断し、治療を開始しなければなりません。自分たちの診療の質を高めたい方に最適なツール ICPC-2 をご紹介します。																					
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 25%;">■ 診療所医師 <li style="width: 25%;">■ 病院勤務医 <li style="width: 25%;">■ 初期研修医 <li style="width: 25%;">■ 後期研修医 <li style="width: 25%;">■ 歯科医師 <li style="width: 25%;">■ 薬剤師 <li style="width: 25%;">■ 看護師 <li style="width: 25%;">■ 学生 <li style="width: 100%;">■ プライマリ・ケアに関する研究者 																					
定員	定員：48名 ※机の配置は全て島組（6人/1島）																					
講師名	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">講師</td> <td style="width: 35%;">藤田 伸輔</td> <td style="width: 50%;">（千葉大学医学部附属病院地域医療連携部）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山岡 雅顕</td> <td>（洲本市応急診療所）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三瀬 順一</td> <td>（自治医科大学総合診療部）</td> </tr> <tr> <td>ファシリテーター</td> <td>山田 隆司</td> <td>（台東区立台東病院）</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>和座 一弘</td> <td>（わざクリニック）</td> </tr> <tr> <td>ファシリテーター</td> <td>大西 弘高</td> <td>（東京大学医学教育国際協力研究センター）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大野 每子</td> <td>（唐津市民病院きたはた）</td> </tr> </table>	講師	藤田 伸輔	（千葉大学医学部附属病院地域医療連携部）		山岡 雅顕	（洲本市応急診療所）		三瀬 順一	（自治医科大学総合診療部）	ファシリテーター	山田 隆司	（台東区立台東病院）	講師	和座 一弘	（わざクリニック）	ファシリテーター	大西 弘高	（東京大学医学教育国際協力研究センター）		大野 每子	（唐津市民病院きたはた）
講師	藤田 伸輔	（千葉大学医学部附属病院地域医療連携部）																				
	山岡 雅顕	（洲本市応急診療所）																				
	三瀬 順一	（自治医科大学総合診療部）																				
ファシリテーター	山田 隆司	（台東区立台東病院）																				
講師	和座 一弘	（わざクリニック）																				
ファシリテーター	大西 弘高	（東京大学医学教育国際協力研究センター）																				
	大野 每子	（唐津市民病院きたはた）																				
概要	<p>ICPC-2 の歴史とポリシー</p> <p>ICPC-2 の利用実習</p> <p>ICPC-2 コードの解析</p>																					